

## 将来都市像について

### 現行案

豊かな自然とあふれる笑顔 一人ひとりが輝き つながりあうまち 蒲郡

#### <経緯>

全庁的に組織される市役所の課長補佐以下で組織される約40名からなる作業部会において4部会に分かれキーワードや将来像について検討し、令和2年1月の合同作業部会において現行案を事務局案として決定した。

### 審議会より提案

海が語り、町が語る、人が語る蒲郡

#### <理由>

蒲郡は海が大切であり、海を見ながら自分でいろいろな考え方をしたり、精神の自由を感じることを前面に打ち出す。

⇒将来像の説明に反映

### 融合案

豊かな自然に抱かれた 一人ひとりが輝き つながりあうまち 蒲郡

#### ●豊かな自然

「豊かな自然」というかけがいのない資源を有した特色ある都市を形成しており、この魅力を今後も継承して、市民や来訪者が快適に暮らし、楽しむことができるまちづくりを一層進めます。

#### ●一人ひとり輝く

一人ひとりが**主役となり自発的に**自分の力を生かし、自分らしく、生きがいを実現し、活躍できる舞台となる都市を築きます。さらに、「誰一人取り残さない」社会を築くことを理念とするSDGsの推進を図り、環境と社会、経済がバランス良く発展した持続性の高いまちをめざします。

#### ●つながりあう

一人ひとりの価値観に応じて市民が快適に暮らし、本市を訪れる人が本市の魅力を楽しみ、人々が触れ合い、交流することで、いつまでも笑顔があふれるまちをめざします。

また、人々が美しい海、山の自然やそこに抱かれたまちを舞台に語り合い、絆を深め合うことで幸せを感じ、異なる価値観や文化を超えた交流から、さらに新たな

人づくり、まちづくりを実現していく都市「蒲郡」をめざします。

以上のような方向を目指すため、本市の将来都市像として、

「豊かな自然に抱かれた 一人ひとりが輝き

つながりあうまち 蒲郡」を掲げます。